

学校法人 福原学園
令和7年度事業計画

令和7年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	5
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
3. 自由ヶ丘高等学校	9
(1)教育（学生・生徒・園児支援を含む）	
(2)連携	
(3)運営	
4. 九州女子大学附属幼稚園	12
(1)折尾幼稚園	
(2)自由ヶ丘幼稚園	
(3)鞍手幼稚園	
5. 法人全体（法人事務局）	19
(3)運営	

※ 添付資料

令和7年度事業計画アクションプラン

- (1)九州共立大学
- (2)九州女子大学・九州女子短期大学
- (3)自由ヶ丘高等学校
- (4)折尾幼稚園
- (5)自由ヶ丘幼稚園
- (6)鞍手幼稚園
- (7)法人全体（法人事務局）

I. はじめに

これまで福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、地域に根差した教育機関として学園運営を永続的に行うために、第1次中期計画（平成20(2009)年度から平成25(2013)年度）、第2次中期経営計画（平成26(2014)年度から平成30(2018)年度）・第2次中期財政計画（平成26(2014)年度から平成30(2018)年度）により教学改革を推進し、平成31(2019)年度からは、第2次中期経営計画・第2次中期財政計画において積み残された課題、新たな課題の解決に向けて、第3次中期経営計画（平成31(2019)年度から令和5(2023)年度）を策定し教学改革を推進してきた。

令和元(2019)年度の改正私立学校法の「事業に関する中期的な計画」に関して、(1) 学校法人における中長期計画策定の義務化、(2) 認証評価の結果を踏まえた中長期計画の策定、(3) 中長期計画に関する評議員会の意見徴取等が明記されており、このことから継続して第4次中期経営計画の策定を行う必要があることから、令和6(2024)年度からは、これまでの実績を検証しつつ、令和6(2024)年度以降の課題の解決に向けた取り組みを行うため、第4次中期経営計画（令和6(2024)年度～令和10(2028)年度）を策定している。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育組織を強化し、学生および保護者の満足度を向上させる高等教育を行う大学を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および14の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①教育課程の充実

【九共大AP No.1】

単位の実質化に向けて、毎年度実施される点検・評価の結果を踏まえ、シラバスに記載している予復習課題、アクティブラーニングの適切性および実施率について検証するとともに、適切な授業運営についてFD活動等を通じて点検する。また、成績基準の明確化・厳格化に向けて、複数の教育職員が担当する同一名称の科目の成績評価の平準化について科目担当者会議を通じて検討する。さらに、カリキュラムマップ等を学年進行に応じて点検するとともに、今年度から導入したカリキュラムフローチャートの学生の理解度について、学生生活実態調査アンケートを通じて点検し、履修系統図の実質的な運用を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%
授業評価アンケートにおける授業時間順守の割合	100%
学生生活実態調査アンケートにおける履修系統図の理解度	60%

②免許・資格取得

【九共大AP No.2】

第3次中期経営計画で実践してきた取り組みを継続して実施し、免許・資格取得率を向上させるため、教職課程履修者に対する教員採用試験合格の支援を実施

するとともに、主要資格取得希望者に対する合格の支援を実施して、各学科における免許・資格取得支援体制の強化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小・中・高・養護の教員採用試験合格者数	17人
経済学部で取得可能な主要資格の合格者数	60人
アスレティックトレーナー(JSP0)合格者数	3人
スポーツトレーナー(JPSU)合格者数	4人
トレーニング指導者(JATI)合格者数	10人

③退学・除籍防止、学修支援

【九共大AP No.3】

多様化する学生への支援の充実を目的に、退学・除籍を未然に防止するための施策として、学生データを活用して出席不良学生および学業成績において適格認定基準に抵触する可能性が高い学生を早期に把握し、担任教育職員と保護者が連携して学生指導を行う。また、授業評価アンケートにおける授業満足度について、学生が「非常に満足している」と回答した割合について分析し、各学部と情報共有を図り学生満足度の向上に繋がります。さらに、やる気のある学生が伸びることを支援する施策として、年度末に「やる気支援（免許・資格・進路）」と資格取得・進路決定との相関を分析し、必要に応じて次年度の実施内容の見直しに活用するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：退学率	2.3%
除籍率	0.35%
授業評価アンケートの授業満足度における「非常に満足している」の占有率	97.0%
学生生活実態調査アンケートの学生満足度における「満足している」の占有率	35.0%
やる気支援(免許・資格・進路)受講者の資格取得試験等合格者数	50人
やる気支援(免許・資格・進路)受講者の進路決定率	97.5%

④就職支援

【九共大AP No.4】

充実した就職支援対策を継続して実施するため、民間企業希望者に対して、全員面談等で学生に周知し、積極的にインターンシップに参加させる等、早めに就職活動に取り組むよう促す。また、「公務員合格者数100人計画」を達成する支援策として、K-CIPを中心とした教育課程内外での取り組みを通じ、公務員の現役合格率の増加を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：上場企業【東証プライム・スタンダード・グロース・地方】内定率	30%
特定業界【金融・保険・J A等】内定率	8%
特定業界【卸業・小売業】就職率	25%
公務員合格者数100人計画(延べ数)	70人
公務員(行政職)合格者数(延べ数)	15人
公務員(公安職)合格者数(延べ数)	55人
地方企業等への就職決定率	75%
インターンシップ【短期】への参加者数(延べ数)	170人

⑤研究活動の強化

【九共大AP No.5】

科学研究費補助金の獲得のための支援として、採択件数増加に繋がる学内説明会を実施する。また、ティーチング・ポートフォリオ等を活用した研究業績の蓄積を行うとともに、研究計画書およびティーチング・ポートフォリオのあり方について検証する。研究に対する取り組みを活性化するために、配分基準を見直すとともに、学内における教育職員に対する研究支援策を検討し、以下の成果指標

を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金採択件数	5件
全国学会誌等への掲載件数	25編

⑥私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）選定 【九共大AP No.6】

令和6年度の取り組みを継続して実施することにより各設問の得点を維持し、得点を獲得できていない設問について、得点獲得に向け、オープンバッジを含めたデジタル化の導入を検討する。また、FD活動を通じて授業におけるアクティブラーニングの実施について推進を行い、教育の質向上を図るとともに、アンケートの実施方法を見直し、複数回にわたり回答を促すことで回収率の向上を図る。あわせて、包括的連携協定を締結している企業等と経済的支援またはキャリア支援を目的とした連携事業を検討するとともに、本学が他大学等へ提供可能な教育リソースについて検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合	76.3%
--------------------	-------

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の選定に関する計画を必須項目として掲げた。

①学園内設置校、卒業生との連携 【九共大AP No.7】

自由ヶ丘高等学校との密接な連携による入学者数の増加に向けて、学生のフェシリテーターおよびスチューデントアシスタントによる高校生への学び等を提供する。卒業生との連携については、卒業年度の12月に4年間を通じた学修成果についてのアンケートを実施し、学生の評価や意見を集約する。また、卒業後3年が経過した卒業生を対象に、在学中に受けた教育内容やサービスに対する意見を調査し、本学の教育内容や各種支援内容の検証を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自由ヶ丘高等学校入学者数	45人
卒業時アンケートの回収率	85%
卒業生アンケートの回収率	12%

②国際交流の充実 【九共大AP No.8】

1年次留学生の受け入れ環境を整え、台湾や中国の高校から直接本学へ入学する学生を9月に受け入れる。また、日本人学生の短期海外研修プログラムへの参加を促進するため、4月と9月に短期海外研修プログラムの説明会を実施する。さらに、留学生の受け入れを活性化するため、中国、台湾およびベトナムの大学や高等学校と新規の協定締結を推進するとともに、既存の協定校と充実した交流内容の実績を積み上げて英語圏の大学との協定の新規締結を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期海外研修プログラム参加者数	8人
海外の大学等との新規協定締結数	2件

③私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）選定 【九共大AP No.9】

地域連携協定先の自治体等との地域連携協定に基づく新たな事業プランを検討するとともに、地域と連携した教育課程の編成および地域の課題解決に向けた研究を推進するため、正規科目内における連携事業の取り込みを検討する。また、令和5年度のスポーツ学部の資源を活用したリカレント教育の検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合

50%

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修 (SD・FD)

【九共大AP No.10】

実践的・効果的なFD活動を推進するため、各期に実施する授業評価アンケートを分析・検証のうえ、組織的な授業改善に繋げるとともに、ティーチング・ポートフォリオの点検・振り返りを行うことにより、個々の授業改善へ繋げる。また、社会情勢等を踏まえ、授業改善を促すFD研修会を企画・実施するとともに、私立大学等改革総合支援事業の調査項目に基づいた計画を策定する。あわせて、SD研修会を計画的に実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の実施率	100%
SD研修の実施率	100%

②定員管理

【九共大AP No.11】

事業計画アクションプランの実施状況について、4月から9月までの取り組み実績を点検のうえ10月以降の課題を明確にし、進捗の遅れを軌道修正することで目標達成を実現する。また、計画どおりに研修を実施し、研修終了後のアンケート調査等を点検のうえ次年度の研修計画に改善することで各学部・学科等における入学定員充足率を達成・維持して大学全体の適切な定員管理を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：志願者数	1,400人
経済学部入学者数	400人
スポーツ学部入学者数	340人
経済・経営学研究科入学者数	5人
スポーツ学研究科入学者数	5人

③広報活動の充実

【九共大AP No.12】

高校教員との直接接触の機会となる高校訪問を、福岡を中心とした九州・沖縄、山口の各県において実施し、高校教員との関係構築を行う。大学説明会は、令和6年度の5会場に加え、山口市においても実施し、学生の動画を通じて、本学の就職指導の実績等をアピールする。また、高校生との直接接触の機会となる進学相談会に積極的に参加し、本学での学びの特色や他大学との違いについて広報するとともに、参加者へダイレクトメールの発送等を行い、オープンキャンパスへの動員や志願者の増加に繋げる。さらに、参加者の本学への理解度・満足度について調査するとともに、高校訪問スタッフ打ち合わせ会において、参加者の増加に向けた検証を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,350人
大学説明会高校教員参加者数	80人
進学相談会高校生参加者数	5,000人
オープンキャンパス参加者の満足度	90%
高校教員の本学への理解度・満足度	80%
高校生の本学への理解度・満足度	80%

④大学アセスメントの構築

【九共大AP No.13】

教育活動の質の保証に向けて、三つのポリシーの適切性について外部有識者の客観的な意見を踏まえ点検・評価するとともに、アセスメントテスト等の結果を他の学生情報と組み合わせて分析することで、様々な視点で学生の傾向や教育活

動の実態を把握する。また、各学部や事務局がそれぞれで実施しているアセスメントプランについてそれぞれの繋がりについて検証し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：アセスメントごとの自己点検実施率	100%
数値目標項目を達成した指標項目比率	60%

⑤危機管理体制の構築

【九共大AP No.14】

本学において発生する自然災害や重大事件・事故等、様々な事象に伴う危機に対応し社会的な責任を果たすため、本学の基本方針および対応方針について検討する。また、自然災害が発生した際の初動対応体制および学生および職員が犯罪や事件・事故等の被害者もしくは加害者になった場合の危機対応について、他大学での実例情報を収集して対応事例を整理し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築(訓練実施回数)	1回
危機管理体制の構築(目標「作成マニュアル10件」の達成率)	10%

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育組織を強化し、学生および保護者の満足度を向上させる高等教育を行う大学を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および14の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①教育課程の充実

【九女大・九女短大AP No.1】

単位の実質化や成績基準の明確化・厳格化を図るため、シラバスに記載しているアクティブラーニング等の実施率および成績評価方法・評価割合が適切に設定されているかについて検証を行うとともに、授業フィードバック・アンケートにおける授業時間順守を通じて検討する。また、教育課程の適切性について科目の順次性や科目間の関連性等の検証を行う。さらに、学修ポートフォリオの記載内容を検証し、ディプロマサプリメントの掲載内容について外部評価委員の意見を参考に検証して学修成果の可視化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	80%
授業フィードバック・アンケートにおける授業時間順守の割合	99%
学生生活アンケートにおける履修系統図の理解度	60%

②免許・資格取得

【九女大・九女短大AP No.2】

第3次中期経営計画で実施してきた取り組みを継続して実施し、各学科・専攻の教員採用試験、国家試験、免許・資格試験等の合格率を向上させるため、教員採用試験対策および模擬試験、管理栄養士国家試験対策、一般企業就職対策およびその他の国家資格等の試験対策や個別指導等を実施して資格取得の強化に取り組み、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：(生活デザイン学科) 公立学校教員採用試験合格者数	6人
(生活デザイン学科) インテリア関連資格試験合格者数	5人
(栄養学科) 管理栄養士国家試験合格者数	70人

(児童・幼児教育学科)教員採用試験合格者数	44人
(児童・幼児教育学科)幼稚園、保育園合格正規採用者数	45人
(心理・文化学科)教員採用試験合格者数	5人
(子ども健康学科)公立学校養護教員採用試験合格者数	2人
(子ども健康学科)公立学校保育士採用試験合格者数	1人
(専攻科)公立学校養護教員採用試験合格者数	3人

③退学・除籍防止、学修支援 【九女大・九女短大AP No.3】

多様化する学生への支援の充実を目的として退学・除籍を未然に防止するため、学生ポータルサイト（UNIPA）による学生情報を共有し、各学科・専攻が事前に選定した科目を3回連続で欠席した学生を対象として、担任教育職員とキャリア支援課の事務職員による三者面談を実施する。また、悩みを抱える学生に対する相談体制の構築に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標] 退学率(九州女子大学)	1.45%
退学率(九州女子短期大学)	1.45%
除籍率(九州女子大学)	0.25%
除籍率(九州女子短期大学)	0.25%
授業フィードバック・アンケートの授業満足度「かなり満足している」の占有率	55.0%
学生生活アンケートの学生生活の満足度「非常に満足している」の占有率	35.0%

④就職支援 【九女大・九女短大AP No.4】

民間企業の就職希望者に、教育課程内において段階的に就職準備を進めるため、九州女子大学は「キャリアデザインⅡ、Ⅲ」、九州女子短期大学は「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」の授業を教職協働で運営する。また、北九州市と福岡市を中心に開催される「合同企業説明会」「インターンシップフェア」への参加を促し、北九州市の担当部局や企業と連携して学内セミナー等を開催する等、就職活動に早期から主体的に取り組む学生を増やすため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：就職率(九州女子大学)	97.0%
就職率(九州女子短期大学)	94.0%
就職率(専攻科)	88.0%
特定業界【IT・ソフトウェア・情報通信業】内定率	6.0%
公務員(行政職)合格者数(延べ数)	2人

⑤研究活動の強化 【九女大・九女短大AP No.5】

学生への丁寧な教育と質の高い特色ある教育活動を実践し、科学研究費補助金の採択率向上を図るため、研究活動に関する研修会を実施するとともに、科学研究費補助金の採択に関するポイント等について情報を提供する。また、研究活動の活性化および研究業績蓄積に向けて、研究活動支援体制の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金採択件数	4件
全国学会誌等への掲載件数	27編

⑥私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）選定 【九女大・九女短大AP No.6】

「私立大学等改革総合支援事業担当者会議」を開催し、令和6年度の現状確認と課題整理を行ったうえで、得点獲得に向けた取り組みを行う。得点を獲得できていない設問について、本学と取り組むべき内容の再確認を行い、オープンバッジを含むデジタル化の導入を検討し、得点獲得に向けた検討を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合(九州女子大学)	73.2%
満点に対する得点の割合(九州女子短期大学)	58.8%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定し、私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）の選定に関する計画を必須項目として掲げる。

①学園内設置校、卒業生との連携 【九女大・九女短大AP No.7】

自由ヶ丘高等学校との密接な連携による入学者数の増加に向けて、学生のファシリテーターおよびスチューデントアシスタントによる高校生への学び等を提供する。卒業生との連携については、卒業年度の12月に4年間を通じた学修成果についてのアンケートを実施し、学生の評価や意見を集約する。また、卒業後3年が経過した卒業生を対象に、在学中に受けた教育内容やサービスに対する意見を調査し、本学の教育内容や各種支援内容の検証を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自由ヶ丘高等学校入学者数（九州女子大学）	40人
自由ヶ丘高等学校入学者数（九州女子短期大学）	5人
卒業時アンケート回収率	87%
卒業生アンケート回収率	21%

②国際交流の充実 【九女大・九女短大AP No.8】

グローバル化社会に対応できる人材を育成することを目的として、日本人学生の海外留学を促進するため、国際交流・留学生支援室主催による「短期課外研修プログラム説明会」を実施する。また、留学生の受け入れを活性化するために、中国、台湾の大学と新規の協定締結を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期海外研修プログラム参加者数	30人
海外大学との新規協定締結数	1件

③私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）選定 【九女大・九女短大AP No.9】

「地域連携に係る中長期的な目標・計画」を策定したうえで、得点獲得に向けて取り組みを行う。得点を獲得できていない設問について、自治体・産業界との連携を強化して本学の知的・物的資産をどのような形で提供できるかのニーズを把握する。また、課題の洗い出しとその解決策について検討を進め、得点獲得に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：満点に対する得点の割合(九州女子大学)	33.3%
満点に対する得点の割合(九州女子短期大学)	26.7%

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修（SD・FD） 【九女大・九女短大AP No.10】

教育活動に係るFDについては、大学に求められている教育方法の工夫に対応した研修を企画・実施する。研究活動に係るFDについては、教員の研究活動の活性化に資するため、科学研究費補助金等の外部資金獲得に向けて参考となる内容の研修を企画・実施する。また、ティーチング・ポートフォリオの運用を通じて、個人視点での授業の点検・振り返りを行うことにより、個々の授業改善へ繋げるとともに、学内で共有することにより組織的な授業改善へ繋げる。さらに、SD研

修会を計画どおり実施して大学職員の育成を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の実施率	100%
SD研修の実施率	100%

②定員管理

【九女大・九女短大AP No.11】

事業計画アクションプランの実施状況について、4月から9月までの取り組み実績を点検のうえ10月以降の課題を明確にし、進捗の遅れを軌道修正することで目標達成を実現する。また、計画どおりに研修を実施し、研修終了後のアンケート調査等を点検のうえ次年度の研修計画に改善することで各学部・学科等における入学定員充足率を達成・維持し、大学全体の適切な定員管理を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：志願者数	800人
家政学部入学者数	135人
人間科学部入学者数	190人
子ども健康学科入学者数	120人
専攻科入学者数	28人
人間科学研究科入学者数	5人

③広報活動の充実

【九女大・九女短大AP No.12】

高校生から「選ばれる大学」となるため、直接接機会である高校訪問、大学説明会では高校教員へ本学での学びや他大学との違いを広報するとともに、高校教員との関係構築を行う。進学相談会、オープンキャンパスの際には、高校生へダイレクトメールの発送を行い、オープンキャンパスへの動員等に繋げる。また、ホームページ全体の構成や就職実績ページを充実させ、資料請求者数の増加を図るため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,100人
大学説明会高校教員参加者数	60人
進学相談会高校生参加者数	1,800人
オープンキャンパス参加者の満足度	90%
高校教員の本学への理解度・満足度	80%
高校生の本学への理解度・満足度	80%

④大学アセスメントの構築

【九女大・九女短大AP No.13】

三つのポリシーの適切性について、教育活動に即した観点や教育懇談会における外部評価員による意見を踏まえ、点検・評価を行う。アセスメントプランに則り、教育成果および学修成果について点検・評価する。また、授業満足度および学生満足度について、授業フィードバック・アンケートおよび学生生活アンケートの結果に基づき分析・検証を行う。三つのポリシーを基点とした教育成果および学修成果に係る情報を可視化・把握して、適切に点検・評価するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：アセスメントごとの自己点検実施率	100%
数値目標項目を達成した指標項目比率	60%

⑤危機管理体制の構築

【九女大・九女短大AP No.14】

法人事務局担当部署と情報を共有し、防火防災体制の整備を行うとともに、本学の消防計画の見直しを行う。また、想定される事件・事故や他大学における事例に基づき事件・事故の別に整理して、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築（訓練実施回数）	1回
危機管理体制の構築（目標「作成マニュアル10件」の達成率	10%

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「教育内容および組織力を強化し、生徒一人ひとりの目標の実現のために教育を行う高校を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および12の具体的計画を設定し計画を実施する。

高校は、生徒の主体的な学びを支援し、将来のキャリア形成に役立つ力を養うことを目的とした包括的な計画として実行していくものです。進路指導の強化、探求学習の充実、受験対策の強化、安全管理の向上、そして教育の質の向上を通じて、生徒一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮できる環境を整備する。これらの取り組みを通じて、生徒が学ぶことの楽しさを実感し、将来に向けた自信と実力を身につけられるよう、学校全体で取り組んでまいります。

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①授業内容の充実

【高校AP No.1】

生徒の学習定着のための研究として、外部模試やスタディサプリ到達度テスト等の結果を分析し、生徒へフィードバックするとともに、担任は学修サポート機能である学習動画等を活用し、弱点に連動した課題を配信することで生徒が取り組むべき内容を明確にする。また、教育職員間で授業研究（授業参観）を実施して知識・技術を共有するとともに、先進的な取り組みを行っている外部機関の視察を行う。さらに、各教科の教科会議で先進事例を活用した科目の充実を研究し、その内容を各教科科目に試験的に導入するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：各教科における外部模試前年比較伸長割合(全生徒対象) 55%
生徒の授業に対する授業満足度 65%

②教科指導力の強化

【高校AP No.2】

主要5教科を対象に、年に2回程度の授業研究（授業参観）を計画し実施する。授業参観に来た教育職員は参考になった点を報告書にまとめ、教科会議において改善点等を検証し、教科指導力の向上を図る。また、外部機関が主催する各教科別の指導力向上のための研修会へ参加を促し、教育職員一人ひとりの指導力の向上を図る。さらに、多様化する入試情報等の収集のため、予備校主催の研修会に参加し、教科会議において情報共有することにより教育職員が大学入試への理解を深めて指導力向上に努め、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研究授業等で参考になった点があったと評価した教育職員の割合 60%
各教科における外部模試前年比較伸長割合(全生徒対象) 55%

③受験対策

【高校AP No.3】

国公立大学や難関私立大学の合格実績を向上させることを目的に、共通テストの得点向上に向けた学習支援や小論文対策を強化する。また、進路指導先進校における取り組み事例を視察することにより本校の進路指導体制を見直すとともに、各年度間の進路指導における情報共有を図るため、新旧新三学年会議を実施し、難関国公立10大学に対応した課外授業に取り組むとともに、生徒に高いレベルの入試問題を解くことを定着させて相互理解を深めてより効果的な学修環境を整備するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学合格者数

76人

難関国公立10大学合格者数	6人
早慶上理・GMARCH・関関同立合格者数	7人
西南学院大学・福岡大学・APU合格者数	76人

④探究学習の充実

【高校AP No.4】

正課授業でのアクティブラーニングの活用や学校行事で他者と協働した取り組みを通して「対人基礎力」「対課題基礎力」を向上させる。進路・学習指導のためのまなびみらいPASSの結果を他者との話し合いの中やICT教材の活用を通して「対自己基礎力」を向上させる。また、総合的な探究の時間における課題解決学習等を通して「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」を育成する。さらに、特別活動や課外活動を通して「自己実現や社会貢献に向けて行動する力」「多様な体験・経験、能力、キャリアを組合せ統合する力」を養うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：リテラシーのポイント向上(学びみらいPASSの活用) 2.8ポイント
コンピテンシーのポイント向上(学びみらいPASSの活用) 2.72ポイント

⑤進路支援

【高校AP No.5】

進路指導の充実を図るため、「自由ヶ丘高等学校生徒カルテ（仮称）」を構築し、文部科学省のCOCOLOプランのアンケートで得たデータを一元管理することにより、生徒の入学時から卒業までの進路を見据えた指導を効果的に実施する。また、キャリア形成支援に有効な生徒の進路ロールモデルを構築するため、各部と連携して情報収集を行うとともに、昨年度入試結果から抽出したデータベースを作成し、教育職員の効果的な指導に繋げる。さらに、希望進路の多様化に対応するため、教育職員が生徒一人ひとりの課題やニーズ、状況を理解し支援できる体制を強化して指導する体制を構築するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：生徒の目標達成に対する満足度 65%
総合的な保護者満足度 65%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①学園内設置校との連携

【高校AP No.6】

学園内設置大学で開催されるオープンキャンパスについて、連絡ツールであるClassiや授業支援システムであるロイロイノートを用いて、生徒および保護者に広く参加を呼びかけるとともに、オープンキャンパス、全体保護者会、学期末の懇談会を利用して、生徒および保護者に学園内設置大学への理解促進を図る。また、学園内設置大学の学生にTAやファシリテーターを依頼して高校生の探究活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置大学へのオープンキャンパス参加者数 110人
九州共立大学入学者数 45人
九州女子大学入学者数 40人
九州女子短期大学入学者数 5人

②地域連携

【高校AP No.7】

生徒の地域貢献活動を活性化に向けて地域貢献活動プログラムに多くの生徒が参加できるよう体制を整える。プログラムの拡大に伴い、生徒が安全な地域貢献活動ができる環境づくりを行うため、警察や近隣の学校との情報交換を行う。また、安全確保の状況を教育職員および保護者で共有し、生徒の活動を見守る体制

を構築する。長期間実施している折尾の町クリーン作戦では、多くの生徒が奉仕の心を持ち、思いやりの心の教育が実践できるよう地域ボランティアの幅を広げる。生徒の地域ボランティアのニーズに合わせて、小倉城竹あかりボランティアや北九州市民マラソン運営ボランティア等の新たな活動を検討し、生徒が安心して楽しく活動できる環境づくりを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域貢献活動プログラム数	12件
ボランティア活動への参加者数	550人
校外指導、地域巡回の実施回数	12回

③他大学との連携

【高校AP No.8】

北九州市立大学や学園内設置大学と連携し探究学習活動を実施する。九州大学をはじめとする福岡県内の国公立大学から講師を招き、専門性の高い授業を体験させることによって、専門的分野の内容に興味を持たせる。また、大学主催のオープンキャンパスや体験授業等への積極的な参加を促し、生徒が大学を身近なものとして捉えて希望進路として大学への進学意識を向上させるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：福岡県内国公立大学等との連携プロジェクトの実施回数(学園内設置大学を含む)	2回
福岡県内国公立大学からの出前講義	5回
九州大学・北九州市立大学・九州工業大学のオープンキャンパス等参加者数	120人

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修

【高校AP No.9】

職員研修に関するアンケート調査を行い、職員が学びたいと考える研修を企画することにより主体的に学ぶ環境づくりを目指す。また、全職員を対象とした研修だけでなく、階層別の職員研修を実施することにより教育職員の資質や能力の向上を目指す。さらに、教育職員を対象とした研修だけでなく一般企業向けの研修等を案内することにより教育職員の学ぶニーズに応えとともに、外部の研修に参加しやすい環境整備を行う。探究活動の教育内容充実のために研修会への積極的な参加を促し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員の研修の満足度	55%
校外研修会への参加率	60%
探究活動に関する研修会への参加率	60%

②定員管理

【高校AP No.10】

収容定員の安定的な充足のため、他の事業計画アクションプランを遂行することに加え、進路学習指導のための学びみらいPASSの結果を活用するための報告会を開催し、在校生の授業満足度を向上させるとともに、学校生活の満足度を向上させる。また、転学や退学の進路変更を減らすため、生徒の学習面や生活面での不安を早期に察知し、サポートする仕組みづくりを行うため、不登校対策支援員等の配置を検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：一般入学試験の受験者数	1,900人
入学者数	490人
特別進学コーススーパー特進クラス入学者数	85人

部活動の加入率	60%
年間の進路変更者数	1.95%

③広報活動の充実 【高校AP No.11】

多様に変化する広報活動において、根幹である中学校・塾をはじめとする教育機関への直接的な広報活動を実施するにあたり、訪問先の意向を察し、より充実した訪問とすべく、訪問担当者への事前打ち合わせや訪問後の報告・検討を密なものとし、訪問先の満足度向上を図る。また、魅力的なホームページにするためのリニューアルを行うほか、オープンスクールやナイトツアーの実施について、アンケート等を利用した内容のブラッシュアップを行い、本校の魅力を効果的にPRし、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：中学校・塾訪問での訪問担当者による訪問先満足度	75%
学校見学会参加者の満足度(オープンスクール・ナイトツアー)	90%

④危機管理体制の構築 【高校AP No.12】

生徒および職員が、日常の安全だけでなく、自然災害、感染症などの現状や原因、防止方法についての理解を深め、安全の課題に対して的確な意思決定および行動選択ができるようにする。いじめなどの早期発見のためにカウンセリングやCOCOLOアンケートを実施する。また、生徒および職員による設備、備品の安全確認やヒヤリハット活動の実施および情報セキュリティに関する危機管理の周知活動を実施して危機管理能力の向上を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：生徒のいじめ、ハラスメントに関する理解度	63%
防犯・防災等の学習会での理解度	55%
情報セキュリティ強化でのサイバー攻撃防御率	100%

4. 九州女子大学附属折尾幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、鞍手幼稚園

九州女子大学附属折尾幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、鞍手幼稚園は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かし、園児および保護者の満足度を向上させ、人格形成の基礎を培う幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを基本目標として掲げ、各幼稚園が〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）、〔2〕連携、〔3〕運営の3つの区分および10の具体的計画を設定し計画を実施する。

【折尾幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実 【折尾幼AP No.1】

年間を通してリトミック教室、体操教室等の体験型保育を実践する。特に英語教育では、年間カリキュラムに沿って全園児が毎日10分間の取り組みを行う環境の中で「正しく聴き取る力」と「正しく伝える力」を養い、楽しみながら英語への興味関心を深め、自然と英語教育が身につくよう促す。また、教育課程は、学期末ごとに開催する園内会議において見直し、改善を行いながら次年度に向けた教育課程の見直しを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度	70%
見直し、改善を行った指導計画の達成率	80%

②子ども・子育て支援の充実

【折尾幼AP No.2】

幼児教育施設における子育て支援の促進が求められる中、子育て経験のある職員が相談窓口として対応する際に相談しやすい体制を整える。相談後にアンケートを依頼し、今後の子育て相談に反映する。また、本園ホームページに子育て相談についての情報を掲載するとともに、未就園児教室のチラシや本園の広報誌に広く情報を発信し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度 60%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【折尾幼AP No.3】

絵画造形教室、体操教室、ラグビー体験、テニス教室等の実施を通して学園内設置大学との連携を図りながら多様な人々との関わりを経験する機会を設ける。また、学園内設置大学の教育職員および学生との連携活動を積極的に実施し、九州女子大学附属幼稚園の特色を活かした保育内容、保育力の向上を図る。学園内設置大学職員との連携を図りながら、今後の進め方等について協議を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数 4回

②地域連携

【折尾幼AP No.4】

折尾地域を代表するイベントである「折尾まつり」に年長組の園児が参加すること、遠賀川への稚魚の放流イベントに参加することにより、地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与する。また、地域で開催されるイベントに園児を参加させる際には、その担当者と幼稚園職員による事前調整および確認を行いながら地域行事の充実に貢献するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数 3件
地域事業への職員の参加件数 1件

③小学校との連携

【折尾幼AP No.5】

園長と年長組の担任教育職員が卒園予定の園児が進学を予定している小学校へ出向いて小学校交流検討会を開催し、交流会等の年間計画および日程等について協議する。また、文部科学省が幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のあり方について、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的にイメージし、小学校と情報を共有することを求めていることから、園長と年長組の担任教育職員が卒園予定の園児が進学を予定している小学校へ出向いて幼少連絡会を開催し、指導要録に基づき卒園予定の園児一人ひとりの保育状況について詳細な申し送りを行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数 1件

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修

【折尾幼AP No.6】

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有し、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏

期休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高めて今後の保育内容の充実に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む)	60%
園内研修の実施回数(補助教員を含む)	1回
研修参加者の研修満足度	60%

②定員管理

【折尾幼AP No.7】

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かした幼稚園教育の質の向上を図るとともに、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、教育職員個人の課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ね、実践することで日常の保育の質の向上を図る。また、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数	180人
-------------	------

③広報活動の充実

【折尾幼AP No.8】

ホームページおよびその他のSNS等の配信による広報活動を実施するとともに、近隣の市民センターや図書館等における広報活動を実施する。また、次年度に向けて、未就園児教室のプログラムや年間計画表および参加申込書を作成して在園児と3月の来園者に配布するとともに、未就園児教室参加者にアンケート調査を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率	80%
未就園児教室参加者の満足度	60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築

【折尾幼AP No.9】

定期点検マニュアルに則り、職員全員で遊具等の定期点検を行うとともに、点検箇所の選別、点検方法およびマニュアルについて協議する。また、避難訓練や防犯訓練を年間計画に沿って実施するため、職員全員で避難経路や避難時の職員の役割等について十分に認識する。さらに、不審者の侵入を防ぐため防犯カメラを設置して警備体制を強化する。バスの乗降時には、添乗職員とバス運転士が園児の乗せ忘れ、降ろし忘れがないようダブルチェック体制を整えるとともに、車内の忘れ物チェックや消毒を行い、日々の保育が安全に実施できるよう努めるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数	12回
職員間の安全管理への意識調査	3.5点
避難訓練の実施回数	2回
交通安全教室の実施回数	1回

⑤学校評価

【折尾幼AP No.10】

本園における教育活動、他の園の運営状況について、年度初めに重点的に取り組む目標と評価項目を職員に伝え、取り組み指標と成果指標を職員全員で協議して決定する。また、2月に学校関係者評価委員会を開催し、検討結果を本園の教育課程等や指導に活かすことにより持続的に改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率	60%
------------------------------	-----

【自由ヶ丘幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援にかんすることを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実

【自由ヶ丘幼AP No.1】

年間を通して、様々な行事を実施するほか、学園内設置大学との連携による体操教室・リトミック教室、英語教室を実施するとともに、ipadを活用した年長組によるICT保育等の体験型保育を通じて、園児が楽しく学べる活動を実施する。また、幼稚園の教育方針である『一人ひとりの心身の発達の実情に立つとともに本年の計画的な教育課程による「生活と学び」の教育』に則り、子どもの発達段階に応じた教育課程を作成し、学年会議等において協議する。さらに、教育課程に応じた保育計画を作成し、PDCAサイクルを回して保育の質の向上を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度	70%
見直し、改善を行った指導計画の達成率	80%

②子ども・子育て支援の充実

【自由ヶ丘幼AP No.2】

未就園児教室の参加者、在園児保護者のほか、入園を検討している保護者など入園の有無にかかわらず随時子育ての悩み相談に応じるとともに、保護者会と連携して年2回の子育てサロンを開催し、子育てに対する悩み等の相談体制を構築する。また、本園の園だよりやホームページ、私立幼稚園連盟および北九州市ホームページを通して未就園児教室や預かり保育、子育て相談窓口等の情報を発信する等園内外に広く周知し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度	60%
-----------------------	-----

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関する事、学園外との連携に関する事を具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【自由ヶ丘幼AP No.3】

九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かし、学園内設置大学からの実習生を受け入れ、幼児教育の指導者としての学びの場を提供する。また、学園内設置大学との連携による体操教室、リトミック教室を実施するほか、九州共立大学の学生や自由ヶ丘高等学校の生徒との交流を継続して実施する。さらに、大学の教育職員と連携して幼児教育に関する研究のテーマや方法、役割分担等について検討するとともに、定期的に報告会や研修会を開催し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数	6回
---------------------------------	----

②地域連携

【自由ヶ丘幼AP No.4】

地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与するため、地域住民の協力のもと、田植え・稲刈り・餅つきの体験型保育を実践する。また、折尾まちづくり記念館の事業の一環で、未就園児を対象としたオリオンひよっこクラブへ教育職員を派遣するほか、各種団体等からの要請に対して職員の参加を積極的に検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数	1件
地域事業への職員の参加件数	1件

③小学校との連携

【自由ヶ丘幼AP No.5】

幼稚園から小学校への円滑な接続を推進するため、園児と担任教育職員が小学校へ訪問する等の交流計画を立案する。また、園児と小学生との交流をとおして、幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を意識して教育課程の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数	1件
-----------------------	----

【3】運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①職員研修

【自由ヶ丘幼AP No.6】

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有を図り、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏季休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高めて今後の保育内容の充実に繋げ、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む)	60%
園内研修の実施回数(補助教員を含む)	4回
研修参加者の研修満足度	60%

②定員管理

【自由ヶ丘幼AP No.7】

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かすとともに、学園内設置校との連携による保育、ICT保育等の特色を活かした保育を実践し検証することで保育の質の向上を図る。また、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ねて保育の質向上を図るとともに、ホームページ、SNS等を通じて幼稚園への興味が高まるよう促し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数	230人
-------------	------

③広報活動の充実

【自由ヶ丘幼AP No.8】

本園の保育に対する保護者の理解を深め、保護者との信頼関係の構築を十分に図るため、ホームページ等を通じて本園の保育の活動についてわかりやすく広報するとともに、保護者によるアンケート結果に基づき、掲載内容、掲載方法等の見直しを行う。また、未就園児教室参加者の満足度を向上させ、次回の未就園児教室の参加促進に繋がる新企画立案を課題として検討を継続し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率	80%
未就園児教室参加者の満足度	60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築

【自由ヶ丘幼AP No.9】

定期点検マニュアルに則り、遊具等、施設、バスの点検を行うとともに、内容や手順を検討する。また、危機管理マニュアルを随時見直し、園児の避難訓練等を年間計画に沿って実施する。さらに、卒園予定の園児を対象に交通安全教室を開催する。さらに、添乗マニュアルに則り、添乗職員とバス運転士が車内の忘れ物チェックと消毒を行う。加えて、バスの乗せ忘れ、降ろし忘れがないよう職員間で共通理解を深め、日々の保育が安全で安心して行えるよう努め、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数	12回
職員間の安全管理への意識調査	3.5点
避難訓練の実施回数	2回
交通安全教室の実施回数	1回

⑤学校評価

【自由ヶ丘幼AP No.10】

本園における教育活動、他の園の運営状況について、職員全員で自己評価することにより、園全体の課題を抽出し、次年度への改善に繋げる。また、学校関係者評価を通じて、他者視点での課題等を把握し、次年度への改善に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率

60%

【鞍手幼稚園】

〔1〕教育（学生・生徒・園児支援を含む）

キャリア支援に関することおよび進路支援に関することを含めた教育に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①保育内容の充実

【鞍手幼AP No.1】

豊かな自然環境や広大なグラウンドを十分活かした体験型保育を中心に据えて、植栽・栽培・調理・試食を経験する食育活動、満3歳児からの体系的な運動遊び等の自然体験の実施に取り組む。また、本園の教育方針「子ども一人ひとりが自由にのびのびと表現し、しなやかな心身の強さや優しさを備えた「生き生きした姿を育む」に沿って、4月に全職員で教育課程の内容を検討して編成し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼稚園生活に対する保護者の満足度

70%

見直し、改善を行った指導計画の達成率

80%

②子ども・子育て支援の充実

【鞍手幼AP No.2】

地域に根差した子育て支援を展開するため、子育て支援センターを設置し、育児講座（ママカフェ）、乳児の運動教室（ベビービクス）、未就園児遊び体験（ぐんぐんクラブ）、親子運動教室、育児相談を定期的実施するなど、地域の乳幼児の発達を支援できるよう内容の充実を図る。また、毎月発行する園だよりにより本センターの内容を掲載して銀行・病院・商店等にポスターを掲示し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：子育て支援事業利用者の満足度

60%

〔2〕連携

学園内設置校との連携に関すること、学園外との連携に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①学園内設置校との連携

【鞍手幼AP No.3】

九州女子大学附属幼稚園としての特色を活かして、学園内設置大学からの実習生を受け入れ、本園の教育や運営への協力体制を構築する。また、学園内設置大学から体育・音楽・美術等の教育職員の派遣を要請して、その専門性を活かし幼児を対象とした保育実践の連携を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置校職員との連携事業の実施プログラム回数

6回

②地域連携

【鞍手幼AP No.4】

地域社会の文化に触れ、園児の豊かな情操教育の構築に寄与するため、地域行事へ積極的に参加するほか、陶芸教室・お茶会の開催を通して地域住民と園児との交流を深める。また、地域で開催されるイベントに園児を参加させる際には、その担当者と幼稚園職員による事前調整および確認を行い、地域行事の充実に貢献するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域事業への園児の参加件数

3件

地域事業への職員の参加件数

1件

③小学校との連携

【鞍手幼AP No.5】

幼稚園から小学校への円滑な接続を推進するため、地域の方の支援による自然体験を実施し、園児と児童が交流できる場を提供する。また、卒園を予定している園児が進学を予定している小学校において保幼小連絡会議を開催し、卒園予定

の園児の様子を参観するとともに、園児一人ひとりの発達について詳細な申し送り等を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：小学校との連携事業の実施件数 1件

【3】運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定する。

①職員研修

【鞍手幼AP No.6】

教育職員各自の立場に応じて必要な知識やスキルを向上させるため、教育職員個人の課題や幼稚園全体が取り組むべきテーマにあった研修に参加するとともに、研修内容を他の教育職員と共有し、園全体の保育の質の向上を目指す。また、夏季休暇中に3園持ち回りで2日間の合同研修を実施し、各自および各園の保育の参考とするなど共に学び士気を高め、今後の保育内容の充実に繋げるため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加率(補助教員を含む) 60%
園内研修の実施回数(補助教員を含む) 8回
研修参加者の研修満足度 60%

②定員管理

【鞍手幼AP No.7】

九州女子大学附属幼稚園の特色を活かした幼稚園教育の質の向上を図る。また、教育職員個人の学びや経験を幼稚園全体で共有し、教育職員個人の課題解決に繋がる研修を計画的に積み重ねることで保育の質向上を図るとともに、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：総園児数 90人

③広報活動の充実

【鞍手幼AP No.8】

積極的な情報発信を行うことで、本園の保育に対する保護者の理解や信頼関係の構築を十分図る。ホームページ、SNSに関して保護者や地域住民からの感想や意見を迅速に反映させるため、園内に意見箱を設置して広報活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ、SNS等における配信計画の達成率 80%
未就園児教室参加者の満足度 60%

④安全・衛生対策および危機管理体制の構築

【鞍手幼AP No.9】

定期点検マニュアルに則り、職員全員で保育時・災害時・登降園時等の様々な場面を想定し、子ども一人ひとりの動向を踏まえ、遊具等、施設の点検を行うとともに、内容や手順を検討する。また、園児に手洗い・うがいを習慣的に行うよう指導するとともに、来園者に対し手指消毒等の感染症予防対策への協力を求め、衛生的な保育環境を維持する。危機管理マニュアルを随時見直すとともに、避難訓練は段階的な計画に沿って実施する。加えて、添乗マニュアルに則り、乗せ忘れ、降ろし忘れがないよう職員間で園児のバス乗降業務に係る手順の周知徹底を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数 12回
職員間の安全管理への意識調査 3.5点
避難訓練の実施回数 6回
交通安全教室の実施回数 1回

⑤学校評価

【鞍手幼AP No.10】

幼稚園における教育活動、他の園の運営状況について、教育職員は年度当初に編成した教育課程の進捗状況について、今後に向けて展望等を文章により報告す

る。また、学校関係者評価委員会の委員を規定に沿って選出して2月に評価委員会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自己評価による幼稚園運営目標に対する達成率 60%

5. 法人全体（法人事務局）

法人全体（法人事務局）は、第4次中期経営計画の経営基本方針に基づき、「永続的に学園運営を行うため、学園内設置校相互の連携を深め、学生・生徒・園児・保護者の満足度を向上させる学園を目指す」ことを基本目標として掲げ、〔3〕運営の区分および7の具体的計画を設定し計画を実施する。

〔3〕運営

人事、財政・施設・設備、広報、その他危機管理・学校評価等に関することを具体的計画の項目に倣って策定した。

①教育組織の改編

【法人全体AP No.1】

文部科学省が掲げる「大学・高専機能強化支援事業」「学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」を活用した教育組織の改編について、学園内設置大学と連携して具体的な検討を進める。また、「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化」に基づき、学園内設置校の教育組織の改編について検討を行うため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学園内設置大学の収容定員の充足率(大学院、専攻科含む) 100%
学園内設置大学の学生の満足度(「非常に満足している」および「かなり満足している」の占有率)(大学院、専攻科を除く) 28%

②事務組織の改編

【法人全体AP No.2】

学園運営を永続的に維持できる組織力を培うとともに事務組織の維持向上を図るため、ミドルマネジメント層による各課内および他部署との円滑な連携を図る調整役としての能力向上に取り組む。また、事務職員を計画的に採用するため、継続的に新卒者の採用を実施するとともに、年齢構成の均衡化を図るため、中途採用を計画的に実施する。さらに、毎年度実施している人事評価結果に基づき、資格要件および基準を満たしている事務職員を昇格させるとともに事務組織の活性化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新卒、中途採用人員(5年間累計19人) 5人
事務職員数(5/1付人員) 119人
事務職員1人当たりの学生数(大学事務局5/1付人員) 50人

③人事制度の改革・充実

【法人全体AP No.3】

採用、昇任・昇格基準に課題等を抽出するとともに、採用、昇任・昇格基準およびに高年齢者の採用確保措置について他大学および民間企業等の情報収集を行う。また、学園内設置校の組織改編等に合わせて大学および高等学校の設置基準等を基本とする必要最小限の教員配置について検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教育職員1人当たりの学生数(九州共立大学)(助手を除く) 36.0人
教育職員1人当たりの学生数(九州女子大学・九州女子短期大学)(助手を除く) 22.0人
教育職員1人当たりの生徒数(自由ヶ丘高等学校) 19.0人

④職員研修

【法人全体AP No.4】

職員に必要な知識および技能を習得させるため、計画的な研修プログラムを策

定する。また、本年度の研修計画に基づいた研修の実施状況の点検を行うとともに、問題点および改善点を抽出・検証し、次年度の研修プログラムを策定するため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修プログラム参加者の満足度 100%

⑤財政管理

【法人全体AP No.5】

収支計画策定に向けた検討・改善、予算編成への反映・実行に向けて、学園内設置校における予算編成を行い、学納金および補助金収入の増額を図るとともに、経費の要否を精査し、経常収支差額が収入超過となることを目標とする。また、寄付金の獲得を拡大していくための検討ワーキンググループを設置して検討を行い、寄付金の増額を目指すため、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教育活動収支差額比率(法人全体) Δ 12.5%

経常収支差額比率(法人全体) Δ 12.6%

⑥施設・設備の充実

【法人全体AP No.6】

学園内設置大学のエネルギー使用の多くが施設利用に伴うものであるため、省エネルギー効率の高い設備への改修について計画する。また、省エネルギー対策の実態について分析し、次年度に向けた省エネルギー効率の高い設備導入および設備の運用等、省エネルギー対策の実施に向けて、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：省エネルギー目標(前年度対比) Δ 1.0%

⑦危機管理体制の構築

【法人全体AP No.7】

危機管理体制の構築に向けて、想定される自然災害や重大な事件・事故等の様々な事象に伴う危機に直面した際に、的確に対処できる体制について他大学等の情報収集を行いながら検討する。また、事前・事後の危機管理体制および基本方針等について情報収集を行いながら危機管理体制を構築するとともに、情報セキュリティ危機管理体制の整備・構築に向けて、危機に関する調査や危機管理体制の構築、職員および学生に対する情報セキュリティリテラシーの向上を図ってセキュリティレベルを高め、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：危機管理体制の構築(訓練実施回数) 1回

情報セキュリティ危機管理体制の構築(基準および手順作成) 100%